

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2 単位	学年	2 学年
学科	環境化学科 繊維デザイン科	コース		教科書	新編化学基礎（東京書籍）		
副教材	新課程ニューサポート新編化学基礎（東京書籍）						
学習 目標	中学校で学習した内容を基礎として、日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、観察・実験などを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学 期	4 月	1 編 化学と人間生活 身のまわりのさまざまな化学 1 章 化学とは何か 2 章 物質の成分と構成元素	・物質には性質があり、我々はそれを利用して生活していることを理解する。	◎	○	○	
	5 月	①物質の成分 ②物質の構成元素 ③物質の三態 まとめと演習	・化学と物質について、物質の分離、精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	○	◎	○	
	6 月	2 編 物質の構成 1 章 原子の構造と元素の周期表 ①原子の構造 ②電子配置と周期表 まとめと演習	・原子の構造や電子配置、周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解する。	◎	○	○	
	7 月	2 章 化学結合 ①イオンとイオン結合	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。	◎	○	○	
2 学 期	8 月	2 編 物質の構成	・共有結合や金属結合について、それぞれの化学結合からできた物質の性質と関連付けて理解する。	◎	○	○	
	9 月	2 章 化学結合 ②分子と共有結合 ③金属と金属結合 ④化学結合と物質の分類 まとめと演習					
	10 月	3 編 物質の変化 1 章 物質質量と化学反応式 ①原子量・分子量・式量	・原子量、分子量、式量のそれぞれが表す値を理解する。	◎	○	○	
	11 月	②物質質量	・物質質量とその単位のmolの関係や単位変換について理解する。	◎	○	○	
	12 月	③溶液の濃度	・質量パーセント濃度とモル濃度の違いを考察する。	○	◎	○	
3 学 期	1 月	3 編 物質の変化 1 章 物質質量と化学反応式 ④化学反応式の表し方	・化学反応式やイオン反応式の書き方やそれが表している内容を理解する。	◎	○	○	
	2 月	⑤化学反応式の表す量的関係 まとめと演習	・化学反応式の係数が表している量的関係について考察する。	○	◎	○	
	3 月	復習	・日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。	○	○	◎	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価 方法	定期考査に加え、小テストの成績やパフォーマンス課題、振り返りシートの取組などを総合的に評価する。
----------	--